

古いクルマに乗る喜びってな~んだ?

男の隠れ家

2020
JUNE

6

定価750円

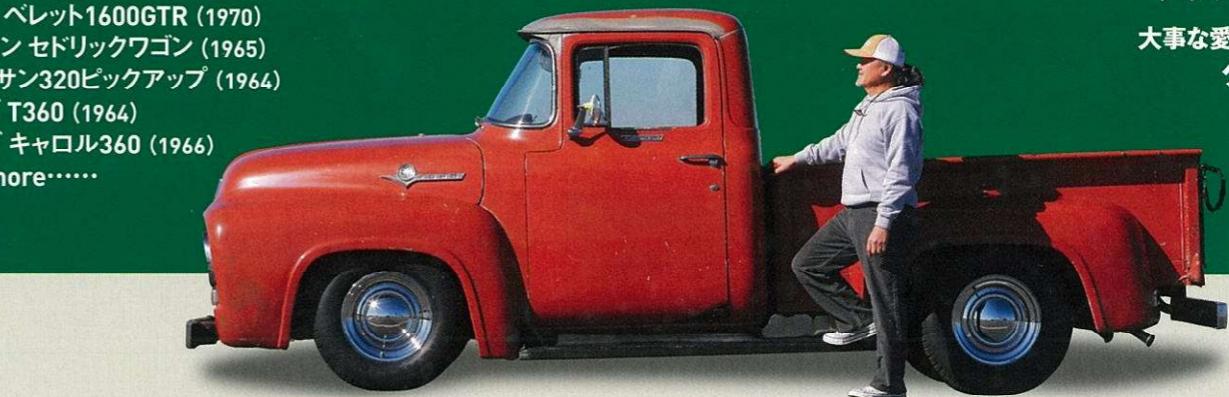
こっちもクラシカル!
クラシックバイク
大好き10人



Contents

- ダットサン ブルーバード (1963)
- シトロエン ライトファイフティーン (1956)
- 日野 コンテッサクーペ (1966)
- モーリスマイナーピックアップ (1961)
- バモス ホンダ (1971)
- いすゞ ベレット1600GTR (1970)
- ニッサン セドリックワゴン (1965)
- ダットサン320ピックアップ (1964)
- ホンダ T360 (1964)
- マツダ キャロル360 (1966)
- and more.....

CLASSIC CAR Special



カッコいい
クラシックカー
オーナー
50人が登場!

絶対に手放したくな~い!
わたし
が
クラシックカーに
乗り続ける、その理由。
古くて新しい
クルマ大集合!!

I DON'T INTEND TO LET THAT GO! THERE'S A REASON I KEEP ON A CLASSIC CAR.



HOTEL

新たな特別室とレストランでラグジュアリーな北海道を満喫

北海道・札幌市の定山渓温泉にある「定山渓第一寶亭留 翠山亭」は、館内的一部分をリニューアルし、新たな特別室2室と特別食事処をオープン。特別室「松風」「連珠」はゆったりとした広さの部屋に加えて、自慢の温泉に長くくつろいでいるよう露天が設置されている。食事処「湯相七席(ゆあいしちせき)」では、北海道の旬の食材をふんだんに使った第一寶亭留最高グレードの和食が愉しめる。

©定山渓第一寶亭留 翠山亭
011-598-2141
jyozankei-daiichi.co.jp/jyozankei/



HOTEL

気分はまさに城主? 城に宿泊する貴重な体験

伊予の小京都と言われる愛媛県大洲市。その中心にそびえ立つ大洲城に宿泊できるプランが限定で提供されている(ひとり1泊2食付き110万円)。ただ城に宿泊するだけではなく、鉄砲隊や馬など、当時を再現した入城シーンや、重要文化財指定の建築で殿様御前など、歴史を感じられる内容がいくつも盛り込まれている。普通では体験できない、城主になった気分を味わえるチャンスだ。

©大洲城キャッスルステイ
0120-210-289
ozucastle.com



HOTEL

美しい海とフクギの並木道 沖縄のヴィラでパワーチャージ

沖縄の美ら海水族館にほど近い備瀬のフクギ並木に「シークレットプールヴィラ・セジ」がオープン。1棟貸しのため、周りを気にせずにくつろげる(ひとり1泊7万5000円~)。1Fは和室、2Fは開放的な洋室になっていて、客室内から沖縄の美しい海や伊江島、水平線に落ちる夕日を眺めることができる。自然に囲まれたヴィラでゆっくりとした時間を過ごして心も体もリフレッシュしよう。

©シークレットプールヴィラ・セジ
098-923-2915
seji.jp



SAKE

アウトドアで楽しむ日本酒 「久保田」がこの春限定で販売

新潟を代表する日本酒「久保田」と、同じく新潟を代表するアウトドアメーカーであるスノーピークがコラボした「爽醸 久保田冬峰」(3410円)。久保田正規販売店とスノーピーク直営店での限定販売となっている。春の山菜や旬の食材を使ったアウトドア料理と合うような、フレッシュな香りと甘味と酸味の中に、米の旨味がほんのり広がる逸品。春の食材と共に忘れずに持って行きたい。

©朝日酒造
0258-92-3181
asahi-shuzo.co.jp



RESTAURANT

物流倉庫街の中に現れる 緑豊かなガーデンカフェ

埼玉県川口市の物流倉庫が立ち並ぶ一画に、緑豊かなガーデンカフェ「1110CAFE/BAKERY」がオープン。職人が丁寧に焼き上げたパンは美味しいだけではない。すべて植物由来の素材を使って作り上げているため、体にも環境にも優しいメニューといえる。素敵な食事や爽やかな風景でお腹も心も満たされるはずだ。なお、現在コロナウイルスの影響でオープン日が延長している。詳しくは公式HPなど。

©1110CAFE/BAKERY
048-229-1085
1110cafe-bakery.com



RESTAURANT

フランス料理だからこそ 楽しめる和の味と体験

東京赤坂にある大人のフレンチレストラン「Le FAVORI(ル・ファヴォリ)」では、9月6日(日)まで和の限定コース「Menu JAPON(ムニュ ジャポン)」(1万2100円)を提供する。エスカルゴやフォアグラなどのフレンチでおなじみの食材を、和食をモチーフにした手法や道具を用いて仕上げる。「和の体験ができるのは和食屋だけじゃない」という考えから生まれたフレンチだからこそ和の味を味わえる。

©Le FAVORI(ル・ファヴォリ)
03-6272-3764
lefavori.jp